

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 福島 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「正しく、強く、美しく生きる」という精神を胸に、地域を担う人材を育成する学校 多様な個性を持つ仲間との体験的な学びを通して、地域の中で正しく、強く、美しく生きる力を身に付け、社会に貢献する高い志を持ち、よりよい社会の実現のために行動できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・獲得した知識・技能や思考力・判断力を発揮して物事を多角的・俯瞰的に捉え、課題を見出せる生徒 ・他者と協働し、創造的に課題解決に挑み続けることができる生徒 ・自他を認め、社会に貢献する志を持ち、よりよい社会の実現のために行動できる生徒
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から応用へと確かな学力を身に付ける ・専門教科における実学・実習の重視による高い専門性 ・教科横断的・課題解決型の授業実践と学科間連携を通して多様な学びの保障
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神的自立・成長を図り、人間性豊かで、規範意識の涵養に努める人 ・継続的かつ意欲的に学習し、積極的に行動できる人

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>校訓「正大・剛毅・優美」を胸に、自己実現に向けて努力を重ねるとともに、身に付けた豊かな人間力で社会に貢献する高い志を持つ人を育てる。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>[成果] 生徒が、日常の学校生活や学校行事の中で、何事にも主体的に取り組み、明るく元気に生き生きと活動でき ており、十分な成果があった。総合ビジネス科と生活デ ザイン科については科の特色や成果を積極的にア ピールができています。普通科は独自の学校設定科目な どの取り組みにより、生徒が主体的に学習する態度が 定着してきている。 [課題] HPやSNSを積極的に活用するなど、より効果的な広報 活動に取り組む必要がある。特に、生活デザイン科や 総合ビジネス科の充実した活動をリアルタイムで発信 し、生徒募集にもつなげていく必要がある。また、多様 な進路目標に対して柔軟な進路指導ができる点を一 層充実させ、強く打ち出していく。学科間連携による、 独自の教育活動をより充実させる。昨年まで取り組ん できた「生徒を主語にした学校作りプロジェクト」から の学びを活かして、個別最適な学び、協働的な学びを 実現し、生徒に確かな学力を付けさせ、進路希望を 実現できるように授業改善を組織的に行っていく。</p>	<p>「自ら考え、自ら判断し、チャレンジする」態度の育成及び他者と協働し課題解決に挑む 態度の育成</p>	<p>良質かつ本質的な問いかけや個に応じた指導を通して、「自分には何ができるか」と主体的に考え、判断し、 行動に移す態度及び他者と協働し課題解決に挑む態度を全ての教育活動を通して育成する。</p>	
	<p>個別最適な学び、協働的な学びにつながるICTを有効活用した授業改善の推進</p>	<p>生徒に基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、令和7年度までの「生徒を主語にした学校づくりプ ロジェクト」の取組を土台として、教員は個別最適な学び、協働的な学びにつながる授業を実践することによ り、生徒の「思考力」「判断力」「表現力」の育成を図り自ら学ぶ姿勢を育成する。ICTの有効活用及び授業と評 価方法の改善により、指導と評価の一体化を図り、生徒の個性や能力を引き出すことで第一希望進路の実現 を目指す。</p>	
	<p>学科間連携の強化、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組、及び関係機関と の連携強化による地域に開かれた学校づくり</p>	<p>学科間連携の学校設定教科・科目を充実させるとともに、学科の特徴や強みを生かした活動を有機的に連携 させる。本校の特色ある教育活動を通して、生徒により広い世界を体験させるとともに、地域社会との連携強化 を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p>	
	<p>生徒の人権意識の向上及び安全・安心な学校づくり</p>	<p>人権教育を推進することにより、生徒の人権意識を向上させ、違いを認め合い、自分自身と他者を大切にする 心豊かな人間性を育む。ICTの積極的活用を通して、生徒理解や個別最適化された授業の実践及び業務の 効率化を推進し、生徒と教員が心身ともに健康で安心して過ごせる学校づくりに努める。</p>	
	<p>多様性の尊重及び特別支援教育の視点を生かした生徒指導の推進</p>	<p>教育活動全体を通じて、生徒の多様性を尊重した対応を行う。また、各場面において、困り感のある生徒の把 握に努め、学校全体で組織的に支援していくとともに、支援を必要としている生徒が二次障害を起こさないよう な体制づくりを行い、特別支援教育の視点を生かした生徒指導に努める。</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
教育推進部 (教務課)	生きて働く「確かな学力」の習得	生徒自らが自己の学習を主体的に調整することを促すことにより、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図るとともに、多様な生徒を包摂する学習環境を整備する。	授業アンケート	
		集中講座及び補習において、各科の生徒の特性・学習進度・学習到達度に応じた指導を行うことにより、知識・技能、技術の向上を図る。	受講希望調査	
		自己研鑽の日や学習時間調査(年4回)を活用して、学習習慣を定着させ、自己調整しながら学習を進める力を育成する。	学習時間調査	
	本校独自の教育活動の充実	探究的・課題解決的な学習を各教科において計画的に実施し、思考力・判断力・表現力を養う活動の充実を図る。	授業アンケート・学校生活アンケート	
		ルーブリック等を活用し、評価基準を具体的に示すことで、評価の可視化とフィードバックを充実させるとともに、生徒の学習と教員の指導改善につなげる。	授業アンケート	
		地域社会や関係機関と連携した体験活動を継続し、生徒主体の活動を活性化させるとともに、HP等で外部に発信する。	授業アンケート	
	生徒が主語(中心)になる「総合的な探究の時間」の授業づくり	単元毎に育成する力を明確にするとともに、指導体制を整備して、生徒自ら探究活動ができる環境づくり(探究プログラム導入)を設定する。		
		推進委員会を中心として「総合的な探究の時間」を円滑に運営する。(早めの計画立案、密な連絡調整)		
		自ら学びたい分野を選択し(普通科2・3年ゼミ方式採用)、地域、大学の外部機関との連携を強化して、探究活動を充実させる。		
教育推進部 (入試・広報課)	本校の魅力が伝わる組織的な広報活動	進路相談事業や体験入学、イブニング体験ツアーにおいて、生徒主体の魅力あるプレゼンテーションを実施する。	生徒保護者アンケート	
		出前授業の学校説明会に積極的に出向き、本校の魅力を発信する。	実施後のアンケート	
		学校HP、SNS等の迅速な更新を行い、本校の魅力を伝えるとともに、本校教育活動への理解を図る。		
	効果的な広報活動のための情報収集	広報活動の分析を行い、中学生及び中学生保護者に向けた広報活動を積極的に行う。		
		新入生アンケートや2、3年生向けの満足度アンケートを行い、広報活動の改善に活かす。	生徒アンケート	
		中学校訪問を通して本校の魅力を発信しながら生徒の情報交換を行い、中学校との連携を図る。	訪問による実地調査	
	計画的で協働的な業務の遂行	分掌会を定期的で開催し、全員が責任感を持ち、組織的に業務に取り組む。		
		他の分掌と連携を図りながら業務を進め、学校全体で入試・広報活動を行う体制を整え、効果的なアピールを行う。(第9学区、久留米地区、みやま地区)		
		各行事のスケジュールを確認し、担当割や準備物について職員間での共有を計画的に行う。		
キャリア教育部 (進路指導課)	キャリア教育の更なる充実による「夢を描き努力し続ける生徒」の育成	進路講演会や進路ガイダンス、上級学校・企業訪問、卒業生講話等を充実させ、進路意識の向上を図る。	振り返り・感想文	
		「Classi」を活用して学校行事や進路学習等の見通しと振り返りの場を設定し、進路や自己の生き方を考える一助とする。		
		ボランティア活動やふれあい看護体験、インターンシップ等の体験活動に積極的に参加を促すことで進路について深く考える機会とする。		
	第一志望の進路実現に向けた心構えの育成と資質能力の向上	小論文指導体制の強化とその指導の充実を図り、希望進路実現に必要な「読む力」「考える力」「書く力」を伸ばす。		
		3年生の希望者を対象とした放課後講座及び模試の実施・結果分析を通して、希望進路実現に必要な学力の向上を図る。		
		就職・公務員希望者を対象に、外部講師を招聘したガイダンスや特別講座、面接指導等を計画的に実施して、必要な能力を伸ばす。		
	進路選択及びその実現をサポートする情報の収集と発信	「進路のしおり」の内容の充実を図り、進路選択やその実現に資する情報を早期に提供すると共に、有効に活用して進路指導を充実させる。		
		進路委員の生徒が中心となって進路関係行事で運営・進行を務めたり、進路冊子を責任をもって配布したりなど、生徒主体の組織的な取組を通して、進路への関心を向上させる。		
		進路指導課会議を定期的で開催し、職員間で情報を共有するとともに組織的な進路指導の更なる充実を図る。		

キャリア教育部 (企画・研修課)	生徒・教員の成長を促す円滑な学校行事の遂行	早期に各分掌と連絡・調整・確認を行い、2か月分の行事予定表を提示する。		
		各行事の目標を教員・生徒双方に明確に示して、効果的な行事を実施する。	振り返り・感想文	
		課内の役割分担を明確にして、スムーズな行事の実施に努める。		
	研修の充実と図書館利用の活性化	生徒主体で図書館だよりを発行して、図書館利用の活性化を図る。	図書館に関するアンケート	
		他分掌と連携して、本校の教育課程に即した校内研修を実施する。		
		校外研修や他校での公開授業などを広報し、参加を呼び掛ける。		
	授業改善の促進	授業アンケートを各学期の終わりに実施して、次の学期からの授業改善につなげていく。	授業アンケート	
		効果的な研究授業、人権同和教育授業、授業参観を実施する。		
		ICTを活用した授業教材を収集し、職員で共有できるようにする。		
生徒育成部 (生徒指導課)	問題行動0・いじめの撲滅を目指すための人権感覚の育成	いじめアンケートを実施し、教育相談委員会等による情報の共有化を図り、学年・学校全体で対応する。健康管理課と連携し、関係機関に繋いだ方がよい生徒への対応を迅速に行う。	いじめアンケート・学校生活アンケート	
		規範意識育成の講習会実施及びDVD視聴などにより、正しい行動ができるよう指導する。多くの教員から話をするにより、自分の行動を振り返り、人の気持ちを考慮して行動する生徒を育成する。		
		SNSによるトラブルを未然に防ぐための講習会を実施し、各クラスでも状況の把握・指導を適宜行う。また、日頃の生徒の状況を観察し、相談できる場所の提示を適宜行う。	いじめアンケート・学校生活アンケート	
	部活動・生徒会活動の活発化	部活動の在り方を再考し、生徒の能力を最大限に発揮させるための場を作る。広報と連携して、部活動の状況を地域に知ってもらう。		
		各専門委員の活動を活性化する。各担当の職員が積極的に委員会活動に関わり、それぞれの委員会で考えた活動を実現できるようにする。		
		リーダーの発掘と育成に力を入れ、体育大会・福高祭などの学校行事において、生徒会執行部・リーダーを中心に、生徒が主体的に取り組む機会を作る。	生徒アンケート	
	交通事故0・交通マナーの向上	事故事例の提示をし、自転車運転時のヘルメット着用を徹底するなど、交通マナーの意識を向上させ、交通事故0を目指す。		
		警察との連携を深め、青切符制度導入を機会に交通ルールに関する情報を周知し、安全に関する意識の向上を図る。スクールサポーターとの連絡を密にする。		
		登下校指導を定期的に行い、生徒の様子を観察することで、交通マナーに関する課題などを発見し、指導に活かす。		
生徒育成部 (健康管理課)	生徒及び職員の心身の健康の保持増進	各種健康診断を実施し、年度当初における生徒および職員の身体状況の基礎的な把握を行う。	問診票等	
		学校・学年行事等に際して事前健康相談を実施し、生徒の心身状況を把握し報告する。	事前アンケート	
		保健だよりを月1回発行し、健康や事故防止に関する注意喚起を行う。	学校生活アンケート	
	学校管理下での事故防止及び美化の徹底	熱中症対策を含めた救急法講演会を実施し、部活動や体育的行事における安全対策を充実させる。		
		生徒美化委員を中心に、校内美化と学習環境の整備を図る。		
		防災避難訓練を充実させ、防災意識の向上を図る。		
	担任・学年・教育相談委員会の連携・協力体制の確立	様々な問題を抱えた生徒に対し、学校全体で支援等を検討するために『教育相談委員会』をSC来校に合わせ月1回開催する。	学校生活アンケート・いじめアンケート	
		生徒の保健室利用状況をクラス担任に毎日報告する。	応急処置連絡票	
		SC・SSW・訪問相談員による相談事業を実施する。		

第1学年	基本的な生活習慣の確立	挨拶する・時間を守る・約束を守る、などの当たり前のことを教員が率先して行い、生徒に模範となって示す。	学校生活アンケート	
		遅刻・欠席・風紀違反の多い生徒に対して、学校や家庭での様子の連絡を密に行い、学年全体で協力して指導する。(皆勤者70名以上) 定期的な面談を通して生徒とコミュニケーションを図り、早期にいじめ、問題行動への対応を行う。	学校生活アンケート	
		学年行事や学校行事に積極的に参加し、学校の活性化に貢献できるように、メリハリをつけながら自己の思いや考えを表現しやすい雰囲気作りを行っていく。(リーダーの育成)	学校生活アンケート	
	家庭学習の確立と基礎学力の向上	毎日の学習時間の記録、週ごとに課題一覧表の掲示など、様々な取り組みを実施する。(1日平均2時間以上)	学習時間調査・授業アンケート	
		各クラス・各教科で連携を取りながら、適切な課題の設定を行い、家庭学習の充実と基礎学力の向上を図る。(偏差値50以上)	進路支援ソフト利用	
		教室整備・チャイム席・授業準備・課題提出の期限厳守を徹底し、学習に集中できる環境を整える。	学習時間調査・授業アンケート	
	進路意識の向上と進路目標の設定	進路ガイダンス・上級学校訪問の実施、オープンキャンパスへの参加を通して生徒の進路意識の向上を図る。(年2回の実施)		
		総合的な探究の時間やHR等で自己の進路とつながりを見つけ、考えながら、早期に進路目標を定め、それに向けて行動させる。	総合的な探究の時間支援ソフト活用	
		スタディーサポートや進研模試などの外部模試(年5回の実施)を利用し、生徒の学習状況を把握しながら、1つ上のステージに上がるための二者・三者面談(年4回の実施)の充実を図る。	進路支援ソフト利用	
第2学年	中核学年の育成	挨拶や清掃などの日頃の学校生活に真摯に取り組むとともに、他者と協働し、体育大会や福高祭などの学校行事に主体的に参加する生徒を育成する。		
		始業時の教材の準備、授業の重要性、提出物の確実な提出、復習を意識付け、基本的な学習習慣および授業に取り組む姿勢を身に付けさせる。	授業アンケート	
		生徒の観察、生徒とのコミュニケーション、いじめアンケートや学校生活アンケートの活用を通じて、生徒の自尊感情を高め、生徒が前向きに学校生活に取り組むための環境を整備する。	いじめアンケート・学校生活アンケート	
	進路意識の高揚	学期に1回程度進路希望調査を実施し、面談週間の際に活用するなど、進路に向けた意識付けを図る。	進路希望調査	
		進路ガイダンスや進路講演会を通じて、生徒の進路選択の幅を広げるとともに、進路意識の高揚を図る。	感想文	
		進路希望調査や上級学校調べ等を通じて、生徒自身が進路に向けた情報を得る習慣と力を身に付けさせる。	ワークシート	
	学年団の相互協力と他学年・他分掌との連携	学年会などを通じて生徒の情報を密に共有し、生徒1人1人への細やかな支援を行うための体制の充実を図る。		
		他学年・学科間の連携を重視し、学校全体の活性化に努める。		
		各分掌との連携を密にし、職員団の円滑な業務遂行に努める。		
第3学年	世の為、人の為に動ける人材を育てる	明るく元気な挨拶をする、時間厳守(5分前行動)、服装を整える、清掃を丁寧に、提出物を期限内に提出するなど、当たり前のことをできるようにして、それを土台に人間力を向上させる。	学年アンケート	
		授業、行事、清掃活動など学校生活に主体的に取り組む、自分の役割を最後までやり遂げる。また、学校行事を通して、リーダーの育成を行い、生徒が中心となって学校を支えていく機運を学年全体で高める。	学年アンケート	
		友人や周囲の人の変化に気づき、声かけやサポートを積極的に行うなど、困っている人に手を差し伸べることができる生徒を育成する。	学年アンケート	
	学力向上と進路実現に向けて	教室整備を行い、授業前の黙想に十分な間をとらせ、心を落ち着かせて授業に臨ませるなど、授業に集中できる環境や雰囲気を整える。	授業アンケート	
		担任・副担任指導の下、学習時間の記録を取ることで生徒の生活状況の把握に努め、適切なアドバイスを行う。また、各授業担当者が適切な課題の設定などを行うとともに生徒が主体的に学習に取り組むように支援し、学力向上を図る。	学習時間調査・授業アンケート	
		進路ガイダンスやオープンキャンパスへの積極的な参加を促し、リアルな体験から進路選択をさせる。また外部模試を活用して生徒の学習状況を把握しながら、二者・三者面談において具体的なアドバイスを行い、多様な進路目標の実現に繋げる。	模試分析・進路希望調査	
	安全・安心な学年・学級づくりと学年団のチーム化	教師が常に人権尊重を意識した発言を心がけ、適切な言葉で指導にあたることで、生徒が互いに価値観の違いを認め合い、個性を尊重し合える関係構築を促す。	職員アンケート	
		アンケート調査や生徒の様子をしっかりと観察するなどして、いじめのない安全・安心な学年・学級づくりを目指す。教師が「いじめは絶対許さない」姿勢を持ち、学校行事等機会をとらえてメッセージを伝えることで人権感覚の醸成を図る。	いじめアンケート・学校生活アンケート	
		学年団全員で生徒の学習指導、生徒指導、進路指導等にあたり、教員が密に連携し、誰かが困っていれば全員で助けるという意識を高め、組織力を向上させる。	職員アンケート	

総合ビジネス科	資格取得の推進と資格を活用した進路実現	高度資格として、日商簿記検定2級10名、ITパスポート5名以上の合格者を輩出する。	授業アンケート	
		全商検定2・3級は、合格率90%を達成する。また、卒業までに全商1級3種目以上合格者を50%達成する。	授業アンケート	
		資格を活用して大学、公務員、地元優良企業などの進路を推進する。キャリア教育部と連携しながらサポートを行う。	進路希望調査	
	キャリア教育と地域社会との連携	各学年に応じて進路目標の明確化を図り、体験活動やキャリア教育を推進し、生徒の勤労観・職業観を育成する。	感想文	
		学科の行事をとおして地域経済の発展に関心を持たせ、生徒自身が社会に求められる力に気付き、主体的に学ぶことができる環境づくりを行う。	感想文	
		地域の祭りや販売イベントに積極的に参加し、体験的な学びを経験し、その学習成果を学科発表会で発表し、生徒の社会性と地域貢献の意識を高める。	感想文	
	ビジネス教育の魅力向上と発信	各学年の学習活動や進路状況を「総合ビジネス科ニュース」として本校SNSで発信する。	総ビアンケート	
		生成AIを利用した商業デザインやCG画像作成学習の充実を図る。	授業アンケート	
		生成AIの開発についての基礎となるプログラミング等の学習の充実を図る。	授業アンケート	
生活デザイン科	コース制における専門性の向上と生徒の可能性を引き出す授業実践	専門性の向上を目指して実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を重視し、生徒の可能性を引き出す授業を実践する。	授業アンケート	
		家庭科技術検定では技術力・思考力の向上と挑戦する力を培い、コース合格率90%以上を目指す。また、柔軟な指導力を培い、指導の統一化に努める。	授業アンケート	
		社会人招聘事業やものづくりマイスター事業などを活用して専門性の高い学びの場の設定を計画し、生徒の適性の追及を目指す。	事業実施後アンケート	
	専門学科の特性を生かした進路実現と発展的なキャリア教育の推進	キャリア教育等を通して進路目標の明確化を図り、生活産業を担う意識の確立と適性に応じた進路実現を目指す。	進路希望調査	
		学科の行事を通して、自他を認め、社会や地域に貢献する志を持たせ、粘り強く学び続ける力を育成する。	生徒感想文	
		「課題研究」や「総合的な探究の時間」を中心とした協働学習を推進することで、生徒の主体的な学習活動を充実させる。	学科アンケート	
	地域社会への貢献・人材育成と情報発信力を強化した広報活動の実施	地域行事や地域交流において、地域・企業・行政等との連携強化を図り、地域に貢献する人材を育成する。	事業実施後アンケート	
		学科新聞発行やHP更新など積極的に行い、特色ある教育活動や活躍する生徒の姿を可視化し、SNS等工夫した情報発信の充実を図る。	学科アンケート	
		進路相談事業・出前講座・体験入学等を活用し、学科の学びに対する理解を深めるとともに、生徒募集を広域かつ積極的に実施する。	事業実施後アンケート	